

ディリー・ジーザス・ニュース #208

イエスの宣教

イエスの失われた貨幣のたとえ話

ルカ15.8-10

8 「あるいは、女性が銀貨10枚を持っているとしよう そして、一つを失くしてしまいました。彼女はランプを灯し、家中を掃き続け、見つけるまで注意深く探し続けるのではないでしょうか。

9 「そして彼女は すると彼女は、友達や近所の人たちを呼び集めて、「私と一緒に喜んでください。失くしたコインが見つかったんですから」と言います。

10 「同じように、わたしはあなたたちに言います。悔い改める一人の罪人のために、神の御使いたちの前で喜びが起こります。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ =^{MT} 、マーク=^M 、ルカ =^L 、ヨハネ =^J 、使徒行伝 =^A 。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します。** 旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

| 位置 | ペレアのどこか |
|-----------|-------------------------|
| タイムライン | 1月または2月 (36ヶ月目と37ヶ月目) |
| イエスの生涯の文脈 | 第7段階：ペレアにおけるイエスの宣教 |
| | A.ペレア全土におけるイエスの奉仕者たち |
| タイトル | 7. イエスの失われた貨幣のたとえ話 |

コメント：

今日の朗読では、イエスは最初のたとえ話で羊と失われた羊の比率が100対1であったのに対し、硬貨と失われた硬貨の比率は10対1へと変化しました。最後のたとえ話では、その比率は2対1へと縮小されます。イエスはこの焦点を徐々に絞ることで、一連のたとえ話の最後の人物、つまり失われた兄を強調しました。これは、史上最高のコミュニケーション能力者による、見事な物語の語り方でした。

これら3つのたとえ話はすべて、持ち主が失くした大切な品物と再び繋がる喜びを描いています。これはルカ15章でイエスが一貫して説かれたことです。神は、罪深い人が悔い改めて神のもとに帰ると、彼らと再び繋がることを至上の喜びとされます。ですから、私たちも同じような心構えを持つべきです。

ディリー・ジーザス・ニュース #208

イエスはこの点を強調するために、重要な文法的な手段を用いました。最初の二つのたとえ話では、持ち主が失くし物を見つけたとき、イエスは命令形を用いて、悔い改めた罪深い人々を喜ばせることの必要性を強調しました。どちらの場合も、彼らは友人たちに「あなたたちも私と共に喜ばなければなりません」(15:7,9)と言いました。この句の「しなければならない」は、英語では実際には友人たちへの、絶えず喜び続けるようにという命令であることを示すために使われました。

喜びは選択肢ではなく、状況において必要だったのです。ですから、三つ目のたとえ話で父親は反抗的な兄にこう言います。「私たちは喜ばなければならなかつたのです...」ここでイエスは文字通り「必要」を意味する動詞、「私たちは喜ばなければならなかつたのです」を用いています。悔い改めて信仰によってイエスのもとに来る人々にとって、喜びは唯一適切な応答なのです。

今日の朗読は、罪深い人々を迎える聖霊の喜びを示しています。この解釈の根拠は次のとおりです。最初のたとえ話では、イエスは明らかに、一匹の迷い子羊を見つけて喜ぶ善き羊飼いです。三番目のたとえ話では、父なる神は明らかに、放蕩息子を家に迎え入れて喜ぶ父親です。三位一体論の立場を維持するために、イエスは聖霊を、失くした一枚の銀貨を探し出し、その発見を喜ぶ女性に例えました。

三位一体の三つのたとえ話における御子と御父の役割のバランスをとること以外にも、この物語の女性を聖霊として解釈する理由がもう一つあります。それは、この女性の行動が聖霊の働きを完璧に描写しているからです。まず、彼女は部屋を「照らし」ます。聖霊は聖書全体を通して、私たちに神のことに関する啓示の光、つまり「光」を与える方として描かれています。例えば、パウロはエペソ人への手紙1章15-23節で、聖霊が「私たちの心を照らし」、私たちが物事を見る能够性をもつてくださるようにと祈っています。

女性は明かりを頼りに、失われたコインを「注意深く捜した」。「捜す」というのは、聖霊の働きを表すもう一つの一般的な表現である。パウロはまたこうも述べている。「御霊はすべてのこと、神の深みにまで探りを入れられる。人の思いを知る者は、その人の内にある霊以外にはいないであろう。同じように、神の思いを知る者は、神の霊以外にはいない。私たちは世の霊を受けたのではなく、神から出た御霊を受けた。それは、神が私たちに惜しみなく与えてくださったものを理解するためである。」コリント人への手紙一2章10-12節

迷子の羊が自力で羊飼いの元へ戻ることができないように、失われたコインも自ら「見つかる」ことはできません。迷子の羊もコインも、迷子になった状態で発見し、再び繋がることができる持ち主が必要です。持ち主にとって、貴重な羊やコインを見つけることは、大きな喜びの源です。

聖霊は、神から疎外され、迷っている人々の心を探り、生ける愛に満ちた宇宙の神が、罪深い状態の彼らを見いだし、神の家族の愛と交わりへと迎え入れることを喜んでくださっていることを理解する力を与えてくださいます。聖霊の恵み深い探求と啓示の働きがなければ、罪深い人は悔い改めて神に「見いだされる」ことはできません。これがイエスの教えです。

応用：

ディリー・ジーザス・ニュース #208

御子なる神と聖霊なる神は、共に完全な一致のもとで、失われた状態にある私たちを見つけ出すために、そして私たちが信仰によって御二方の働きに応えられるようにしてくださることを、喜んでおられます。罪深い人々と再び繋がることによって得られる御二方の喜びは、天の天使たちをその栄光で照らすほどに大きいのです。

私たちも、罪深い人々を神のもとに回復させてくださる神の喜びにあずからなければなりません。他に選択肢はありません。パリサイ人たちは「罪深い人々」に対する態度において完全に間違っていました。

あなたを照らしてくださった聖霊への感謝と賛美をどのように表現しますか？

あなたの喜びの表現は、彼の仕事の範囲に適切ですか？

イエス様と聖霊が他の罪深い人々を自分たちとの関係に導く働きを見たとき、あなたはどれほどの喜びを彼らと分かち合いますか。